

## 多様な人財の活躍推進による価値と活力の創出に向けて

### ～女性社員が益々活躍できる JAL グループのために～

JAL グループは、「世界で一番お客さまに選ばれ、愛される航空会社」になることを共通の目標として、グループ一丸となって取り組むことで、着実に再生の道を歩んでいます。一方、少子化が進み、多様化するお客さまのニーズに応え続けていく厳しい競争環境のなかで、これから先も常に一番に選ばれる JAL グループになるためには、もっと新たな価値を生み出していくことが必要です。そのために大事なことは、JAL グループに集う皆さんが遠慮せず思ったことをぶつけ合い、なぜそう思うのかをとことん議論して、お客さまに選ばれる価値を、世界にさきがけて生み出すことです。今まで以上に異なる経験や価値観、新たな視点を持つ多様な人財の力を総動員し、活力を引き出していくことが重要な要素になります。

### 今まで以上に女性が活躍できる JAL グループへ

破たん以降、活力ある JAL グループの実現に向けて「グループマネジメント制度」の導入や「グローバル HR 方針」を掲げ、出身会社や採用地域を超えて能力と意欲ある社員の活躍の場を広げてきました。多くの垣根が取り払われ、地方や海外、多くのグループ社から JAL グループ全体を牽引する実力と人間性を兼ね備えたリーダーが徐々に輩出されてきています。

2014 年度以降もこうした多様な人財の活躍を推進していくなかで、今まで以上に女性社員の活躍を推進することも重要なテーマです。これまでも JAL グループは他社に比べると女性が活躍できる職場が多く存在しましたが、グループ全体を見渡せば、まだまだ女性が活躍できる部門や会社があります。JAL グループの半数は女性ですから、今まで以上に女性が活躍できる会社であることが JAL グループのさらなる発展には欠かせませんし、また女性の視点を積極的に事業運営に取り込むことは、新たな価値を生み出すことに必ずつながると考えています。

そのような想いから、経営の明確な意志として、女性の活躍推進を目標に掲げ、具体的な施策に取り組んでいきます。またこれを女性だけの課題として捉えるのではなく、男性の課題にも目を向け、全員で意識や働き方を変えていきます。

### “世界で一番お客さまに選ばれ、愛される航空会社”へ

女性をはじめとする多様な人財の活躍を推進することは、一部の社員だけに光を当て、活躍を支援するといったものではありません。これからは本当に総力戦。地方や海外を含むいろいろな部門、グループの皆さんの力を結集したその先に、世界一があります。多様な人財の活躍推進はまさに JAL グループが競争に打ち勝つための経営戦略です。そのためには、皆さんがもっとお互いの“異なる部分”に注目し、違いをとことん議論しながら、新たなものを生み出して欲しいと思います。組織や属性を超えて“やりたいこと”や“変えたいこと”を自由に語る、そんな活力ある JAL グループになって、グループ全員の総力で、世界一の航空会社を目指そう。

私たちには必ずそれができる、そう思っています。

日本航空株式会社  
代表取締役社長 植木 義晴

植木 義晴